

吹奏楽

中橋愛生

2016年最大のトピックは4月21日の作曲家・真島俊夫の急逝。これにより国内の多くの演奏会で真島の作曲作品が数多く演奏されることとなった。プロの吹奏楽団でもシエナwo、ブリッツ・フィルハーモニックウインズ、陸上自衛隊中央音楽隊が急遽、真島を特集した演奏会を行っている。

■国内団体の動き

プロの各吹奏楽団に個性的な活動が目立ってきた。特筆すべきものを挙げる。東京佼成woは委嘱活動なども盛んな一方、6月11日にはキンポー・イシイ・エトウの指揮で「ウインドオペラ」と題し「トゥランドット」を演奏会形式で上演する試み。11月24日には初となる大阪での定期演奏会を開催。シエナwoは5月28日の定期演奏会でパスカル・ロジェの指揮でフランス・プログラム。ゲスト・コンサートマスターにギャルドのクラリネット奏者であるシルヴィ・ユーを招く新鮮な切り口。シエナwoは初めて「ニュー・サウンズ・イン・プラス」の録音を担当したのも話題となった。オオサカ・シオンwoは3月11日に苦小牧で公演。民営化により演奏旅行が可能となった。そのときの指揮者である小林恵子は東京吹奏楽団の正指揮者に就任。9月30日開催の東京芸術劇場プラスウィークでの定期演奏会が披露公演。独自のプログラミングで話題を集める広島woは4月28日に80歳となる作曲家・保科洋を軸に据えた公演。下野竜也の指揮で委嘱作「交響曲第2番」を初演。その保科が音楽監督・常任指揮者を務めるフィルハーモニックウインズ浜松も11月23日に保科の傘寿を記念した演奏会を行なっている。TADウインドシンフォニーは初来日となる作曲家フランコ・チェザリーニを招き、その「交響曲第1番」を6月10日に鈴木孝佳の指揮で初演。急速にメディアに露出し注目を集めるばんだwoがCDメジャーデビュー。1月には山形のProWind 023が初CDをリリース。

大学系では東京藝術大学の「芸大wo」が公演・クリニックなどと盛んな活動（後述の海外公演も）。2月14日には海上自衛隊東京音楽隊と合同演奏会も行なう。尚美ミュージックカレッジ専門学校の高美woが2月6日に第40回定期演奏会。これは小澤俊朗の退官記念公演であり、後継指揮者・大井剛史も出演。

新設された団体としては、関西のプロ奏者による関西アカデミックウインズが2月15日にザ・シンフォニー・ホールにて小野川昭博の指揮でデビュー公演。4月10日には東海地区のオーケストラ奏者などによって構成される「マスターズ・プラス・ナゴヤ」（音楽監督：鈴木竜哉）が第一回定期演奏会。6月15日には現代音楽専門の小編成吹奏楽団「現代奏造 Tokyo」（音楽監督：板倉康明）が旗揚げた。ポップスのバンドとしては大阪のザ・シンフォニー・ホールが「ザ・シンフォニー・ホール・ビッグ・バンド」を組織、1月22日に結成コンサートを行なっている。

■イベント

毎年恒例となった「響宴」は3月13日に文京シビックホールで行なわれ初演曲2曲を含む14曲が演奏された。このイベントに連動し「小編成レパートリー・プロジェクト」が始動。小ホールで既成の小編成作品を集めたコンサートを行なっており、今後の展開が注目される。同じく恒例となった「バンド維新」は3月12日と13日にアクティシティ浜松・中ホールで行なわれ湯浅譲二や川島素晴などの8曲が初演。オーチャード・ホールが新シリーズ「オーチャードプラス！」を開始。12月3日の第1回演奏会は藤重佳久指揮のばんだwoが担当した。

5月のラ・フォル・ジュルネ（LFJ）でも吹奏楽関連公演が多くなってきており、東京会場では芸術woアカデミーが各種アンサンブルで公演。金沢では「なにわ《オーケストラ》ウインズ」が主催公演。他、1日は「吹奏楽の日」としてアマチュ

ア団体が多数参加、ベルギーからもゲントのブラスアンサンブル「O' Brass」が来日公演。新潟会場ではプロ吹奏楽団「新潟ブラスプラスプラス」が公演。LFJびわ湖でも各日程でアマチュアによる吹奏楽公演が開催された。しかし、来年は最も吹奏楽が盛んなLFJ金沢の終了が発表されており、今後の動向が気になる所。

ゲーム音楽関連のイベントに吹奏楽が参加することも増えた。シエナwoは昨年「BRA★BRA FINAL FANTASY」と題したツアーを行なっており、今年も4月下旬より国内23公演、7月15日には台湾公演も行なった。また、ブリッツ・フィルハーモニックウインズも8月26日にゲーム会社との共同企画による「あそぶらす」を開催。東京佼成woも「ドラゴンクエスト・コンサート」をシリーズ化して公演を始めている。

■海外との交流

3月2日よりアメリカ・カリフォルニア州でアメリカ吹奏楽指導者協会（ABA）と日本吹奏楽指導者協会（JBA）の合同会議が開催。そのためにコンセル・リベルテと清水吹奏楽団の合同バンドと関西の大学合同バンドが渡米し演奏。この会議においてABA名誉会員に陸上自衛隊中央音楽隊の隊長・武田晃が推挙され、JBA名誉会員にはレイ・クレマー、ジェームズ・バーンズ、ユージン・コーポロンが推挙された。12月14日よりシカゴで開催されたミッドウエスト・クリニックには玉川学園吹奏楽部（中学の単独出演は日本初）、東京藝術大学wo、陸上自衛隊中央音楽隊クラリネット・クワイアが出演。7月20日から30日にかけてスイスのバーゼルで開催されたタトゥー（軍楽祭）には海上自衛隊東京音楽隊が出演。4月上旬にはズーリアン・プラスが台湾ツアーを行なっている。

アマチュアの団体が海外で数多く公演を行なった年であり、7月末にスペインで行なわれた国際コンクールで青森県高校文化連盟吹奏楽部が60人以下編成部門で第一位を受賞したのが特に目立つ。他、1月1日に東邦高校がアメリカのローズパレードに出場、2月上旬に北治山女子中学・高校が全カリフォルニア音楽協会アニュアルカンファレンスに参加、3月下旬に東京の佼成学園女子高校がスリランカで交流演奏会、4月下旬に台湾国際音楽祭に橋高校とNiconico Sounds in Brassが参加、6月29日から7月4日にかけて神奈川大学がオーストラリアとドイツにツアー、7月中旬に浜松市選抜ユース吹奏楽団がアジア・太平洋吹奏楽指導者協会の北京大会で演奏、8月下旬に茨城県立大洗高校がオーストラリアでマーチング、8月31日から9月5日にかけて亜細亜大学が中国・大連で友好親善演奏会、9月6日から10日にかけて近畿大学が韓国国際吹奏楽祭に参加、12月に台湾で開催された嘉義市国際音楽祭には国立音楽大学と静岡大学と近江高校が出演、12月下旬には岡山県高校吹奏楽連盟が高校の合同バンドで台湾に演奏旅行を行なっている。珍しい形態では、8月にふたば未来学園高校吹奏楽部が渡米し部員たちが制作した楽曲をニューヨーク・フィルハーモニー管弦楽団と共演している。

海外からは、11月にイギリスの金管バンドであるブラック・ダイク・バンドが26年振りに来日し東京2カ所と松山で公演を行なったのが大きなトピック。8月下旬から9月中旬にかけては、アメリカからブラスト！が来日ツアーを行なった。5月30日にはニューオーリンズのリバース・プラス・バンドも来日している。10月には「世界のお巡りさんコンサート」が東京で開催。日本の警視庁の他、ニューヨーク市警察、バリ警視庁、ベトナム警察が参加。10日に銀座をパレード、11日に東京国際フォーラムでコンサート。珍しいところでは11月8日にモンゴル国立馬頭琴交響楽団が来日し山口の防府市立中関小学校吹奏楽部・華陽中学校吹奏楽部と共演し鈴木英史「大いなる約束の大地—チンギス・ハーン」を作曲者自身の指揮で演奏。7月中旬には台湾の吹奏楽指導者協会から視察団が来日し東京佼成woやヤマハ銀座店などを視察している。

アンサンブルも数多く来日しており、話題となったものを挙げると、ザ・クラリノッツ、ベルリン・バロック・ゾリステン、ファイブ・クインテット（初来日）、レ・ヴァン・フランセ、ムノツイル・プラス、カナディアン・プラス、ゴマラン・プラス、といったところか。ソリスト単位ではジェームズ・ゴールウェイ（Fl）、クリスチャン・リンドベルイ（Trb）が目玉を引いた。